

教 育 研 究 業 績		
氏名 堀内貴子		
学位：修士(応用言語学)		
研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
言語学		日本語教育 日本語学 外国語教育
主要担当授業科目	日本語教育論 日本語教授法 日本語概論 日本語文法論 日本語音声学	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 ・語彙マップを使った教育 ・語彙/漢字の教育 ・文法/語彙練習問題 ・作文教育 ・読解教育	2007 年～ 2015 年～ 2017 年～ 2018 年～ 2023 年～	単元の終わりなどに、キーワードで語彙マップを作成し、それを使用して文章としてまとめる。その過程を通し、学んだ知識が定着し、また分かりやすく伝えるための文章構造、話し方などを身につけることができる。 パワーポイントのスライドを使用して、テンポよく、飽きさせない授業展開を行う。共起を併せて指導することにより、意味が「わかる」だけでなく、「使える」指導に重点を置く。 何度でも練習問題ができるよう、グーグルフォームを使用したクイズを作成する。学生には、授業外の隙間時間を使用した勉強を促す。 言語技術教育の方法をもとに「一問一答」で質問に対する的確な答えや文章構造を学び、「絵の分析」で根拠を踏まえた考察を行い、作文や読解につなげる。(言語技術教育基礎コース修了 2014 年 11 月つくば言語教育研究所) ピアリーディングを取り入れた「読み」の時間を授業内に取り入れる。他者と意見交換を行い、1 人で読むだけでは気づかない、読みを深める作業ができるよう促す。
2 作成した教科書, 教材 『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のこ とば』 株式会社スリーエーネットワーク 『はじめて学ぶ介護の日本語 生活知識と コミュニケーション』 株式会社スリーエーネットワーク 『日本語教師をめざす人のための スモールステップで学ぶ 教授法』 株式会社スリーエーネットワーク オンライン教材「日本語学習者支援サイト」 株式会社リンクスジップ オンライン教材「4Me 日本語ラーニング」 株式会社学研ホールディングス	2017 年 7 月 12 日 2020 年 10 月 2 日 2024 年 10 月 10 月 15 日 2015 年 8 月 2018 年 4 月	現在介護を学んでいる外国人、これから介護を学びたい外国人や既に介護の現場で働く外国人を対象に、介護の日本語に特化した語彙の教科書である。英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語の翻訳があり、初級修了程度から使える。介護現場に即した豊富な例文と共起が記載されている。(著者：三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子・西巳加子) 現在介護を学んでいる外国人、これから介護を学びたい外国人や既に介護の現場で働く外国人を対象に、介護の現場に必要な日本の生活知識、コミュニケーションが学べる教科書である。(著者：三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子・鈴木健司) これから日本語教師を目指す人、すでに教え始めている人が、教授法の基礎的な知識を確認し、自らの教え方を振り返るための本である。日本語教員試験の勉強にもなる。(編著：久保田美子 著者：木下謙朗。中島喜代美・原彩子・堀内貴子・丸山真貴子) 日本語学習を基礎から「いつでも、どこでも、だれでも」学べるように作成された、インターネット上での無料動画教材である。字幕には日本語、英語、中国がある。文字学習、文型学習、スキットを取り入れ、一方向型の動画ではあるものの学習者が実際に発話したり、漢字を書いたりすることを促した。(片桐史尚(監修)・堀内貴子・小谷野美穂) 日本企業等で働く外国人を対象に「基礎的な日本語コミュニケーション力」を身につけるための e ラーニングサービスである。前身の日本語学習者支援サイトにさらに、レベル別のテスト等を加

3 教育上の能力に関する大学等の評価 2023 年度後学期学生 による授業評価アンケート（第 1 回、第 2 回、明海大学）		2023 年 10 月、12 月	えた。（片桐史尚（監修）・堀内貴子・小谷野美穂） 板書・配布物の読みやすさ、教員の話し方、教員の説明の分かりやすさ、教員の授業に対する意欲や熱意、教員の学生対応等の項目で「満足」との解答が得られた。	
4 実務の経験を有する者についての特記事項				
5 その他				
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日	概要	
1 資格，免許 中学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（国語） 日本語教師養成講座（420 時間以上） 中学校教諭専修免許（国語） 高等学校教諭専修免許（国語） 日本語教育能力試験 登録日本語教員		2005 年 3 月 2005 年 3 月 2005 年 9 月 2007 年 3 月 2007 年 3 月 2023 年 12 月 2025 年 6 月	平 16 中一第 0372 号 平 16 高一第 0618 号 ヒューマンアカデミー No. 00197336 平 18 中専第 0086 号 主として単位を取得した科目の分野 日本語 平 18 高専第 0109 号 主として単位を取得した科目の分野 日本語 第 231111290 号 D0000009127	
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書，学術論文等の名称		単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称 概要
(著書) 1『はじめて学ぶ介護の日本語基本のことば』		共著	2017 年 7 月	株式会社スリーエーネットワーク 現在介護を学んでいる外国人、これから介護を学びたい外国人や既に介護の現場で働く外国人を対象にした、介護の日本語に特化した語彙の教科書である。英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語の翻訳があり、初級修了程度から使える。介護現場に即した豊富な例文と共起が記載されている。(著者：三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子・西巳加子)
2『はじめて学ぶ介護の日本語生活知識とコミュニケーション』		共著	2020 年 10 月	株式会社スリーエーネットワーク 現在介護を学んでいる外国人、これから介護を学びたい外国人や既に介護の現場で働く外国人を対象にした、コミュニケーションに必要な日本文化、それらの運用について学ぶ教科書である。介護の現場に必要な日本事情、介護現場での業務に必要な記録や申し送り、施設利用者の家族とのコミュニケーションなどの表現が学べる。(著者：三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子・鈴木健司)

3『日本語教師をめざす人のためのスモールステップで学ぶ 教授法』 :	共著	2024 年 10 月	株式会社スリーエーネットワーク	これから日本語教師を目指す人、すでに教え始めている人が、教授法の基礎的な知識を確認し、自らの教え方を振り返るための本である。日本語教員試験の勉強にもなる。 (編著:久保田美子 著者:木下謙朗。中島喜代美・原彩子・堀内貴子・丸山真貴子)
(学術論文) 1「日本語における感情表現語の構成～小学生の読書感想文から～」	単著	2006 年 3 月	『明海対照言語学論集』明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp32～35	小学低学年、中学年、高学年、各 15 名ずつの読書感想文を資料に、感情表現についてのパイロット的調査を行った。学年により、感情表現の構成について変化があることがわかった。
2「日本語におけるオノマトペを含む感情表現の語句—小学生の読書感想文による産出から—」	単著	2007 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 7 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp65～71	小学生の読書感想文にあらわれる感情表現のうち、10%ほどの割合のオノマトペを用いたものをまとめた。複数の学年で共通するものの他、高学年になると語彙の種類が増え、表現が豊かになることがわかった。
3「日本語における感情表現語句の構成の分析～若年層の産出例を中心に～」	単著	2007 年 3 月	明海大学応用言語学研究科修士論文	若年層の産出例をもとに、日本語の感情表現がどのような構成を成しているか調査した。学年があがると、感情表現も長く複雑に表現されることなどがわかった。
4「日本語におけるオノマトペを含む感情表現の語句—若年層の読書感想文から—」	単著	2008 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 8 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp73～77	小学低学年、中学年、高学年、中学生、高校生の感情表現からオノマトペを使用しているものについて調査した。学年が低いほど、オノマトペが多いこと、特にプラス評価が多いことがわかった。
5「日本語母語話者と韓国人日本語学習者の感情表現—プラス評価、マイナス評価に注目して—」	単著	2009 年 2 月	『明海日本語』14 号 明海大学日本語学会、pp59～66	日本語母語話者は学年があがるほどプラス評価よりマイナス評価を好むが、韓国人日本語学習者も日本語レベルがあがるとマイナス評価の割合が増えることがわかった。
6「中学国語科の教科書における感情表現—表出例とプラス評価・マイナス評価について—」	単著	2009 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 9 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp63～67	中学国語教科書における感情表現について、実例をあげてまとめた。プラス評価、マイナス評価、中間という観点からは予想に反し、特に学年による差は見られなかった。(P. 63～67)
7「日本語における感情表現のプラス評価、マイナス評価—作文と国語科の教科書から—」	単著	2009 年 7 月	『日語研究論文集—日語研究の新視野』大葉大学応用日語学系(台湾)、pp225～237	感情表現について、プラス評価、マイナス評価の観点から、調査を行った。日本語母語話者・国語教科書・韓国人日本語学習者について比較した。
8「国語科の教科書における感情表現の変化—プラス評価・マイナス評価を中心に—」	単著	2010 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 10 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp31～36	小学国語教科書と中学国語教科書を資料に調査し、小学校ではマイナス評価よりもプラス評価の感情表現が多いこと、学年があがるとマイナス評価が増えていくことがわかった。
9「母語話者と学習者の作文から見た日本語の感情表現—表現構成に着目して—」	単著	2010 年 7 月	『2010 Aletheia Conference on Foreign Language Teaching and	表現構成に注目し、日本語母語話者と日本語学習者の感情表現を比較した。学習者は母語話者よりも表現構成が単純であることがわかった。

10「小学生の国語教科書と読書感想文にみる感情表現－表現志向と表現形式の変化について－」	単著	2011 年 2 月	Cross-Cultural Studies)』真理大学 (台湾) pp40-49 『明海日本語』16 号 明海大学 日 本 語 学 会、pp69～74	小学国語教科書と読書感想文を資料に表現志向と形式の変化を比較した。年代があがるごとに単純に感情形容詞などを使った感情表現が減り、単語を組み合わせた形式での表現が増え、マイナスの評価の感情表現が増えることがわかった。
11「表現志向からみた日本語における感情表現の言葉について－『感情表現辞典』と小学生の産出例の比較から－」	単著	2011 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 11 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp69～74	『感情表現辞典』と小学生の読書感想文を資料に表現志向の観点から調査を行った。『感情表現辞典』はマイナス評価のものが多く、同様に、小学中学年と高学年ではマイナス評価の割合が多かった。しかし、低学年ではプラス評価のほうが多いという結果になった。
12「日本語の感情表現の言葉について－母語話者と学習者の比較を通して－」	単著	2012 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 12 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp65～70	日本語の感情表現について、母語話者と学習者の作文を資料に分析を行った。その結果「語彙的表現」と「フレーズの表現」の 2 種類があり、特にフレーズの表現には、①感情形容詞や感情動詞を使用したもの②体ことばを使用したもの③気持ち、気分、心を使用したもの④比喩表現をつかったもの、という 4 点の特徴が見られた。母語話者に比べ、学習者は、語彙的表現、フレーズの表現のどちらにおいても表現数が少ないことも分かった。
13「『感情表現辞典』におけるフレーズの感情表現について－身体語彙に注目して－」	単著	2013 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 13 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp65～70	『感情表現辞典』を資料に掲載されている感情表現を「語彙的感情表現」と「フレーズの表現」に分け、そのうちの「フレーズの感情表現」について報告をした。感情形容詞や感情動詞にさらに語彙を接続して表現するもの、オノマトペを中心に表現するもの、体ことばを利用して表現するもの、気持ちや気分、心などの語を使用して表現するもの、比喩表現を用いて表現するものなど、これらをいくつか組み合わせて使用する場合もある。体ことばを利用して表現するものでは、上半身、胸の表現が多かった。
14「非漢字圏学習者を対象とした漢字教育についての一考察」	共著	2015 年 3 月	『明海対照言語学論集』1 第 15 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp63～69	非漢字圏学習者への漢字指導について、現場での実践を紹介し、考察を行った。近年の非漢字圏学習者の増加に伴い、これまでの漢字指導では対応が難しい。今後の漢字教育はより丁寧なボトムアップでの指導が必要であろう。(著者：堀内貴子・高木美穂)
15「インターネットを利用した日本語学習動画作成の試み」	共著	2016 年 3 月	『明海対照言語学論集』第 16 号 明海大学大学院応用言語学研究科水谷研究室、pp85～90	「いつでも、どこでも、だれでも学習ができる」、N5・N4 レベルの日本語動画教材作成について述べた。近年のインターネットツールの発達により、世界のどこにいても日本語が学べるよう、スキットの活用や学習者が視聴するだけでなく、実際に発話したり、書いたりできるように配慮した。(著者：堀内貴子・高木美穂)
(その他) 1 日本語における感情表現語句の構成－小学生の産出例について－	単独	2006 年 7 月	第 4 回韓国日本学連合会国際学術大会 (韓南大学校：韓国)	小学低学年、中学年、高学年の読書感想文を資料に、感情表現について調査を行った。どんな感情表現が表出されたか、学年により、感情表現の構成についてどのような変化があるか紹介した。

2 若年層の読書感想文における感情表現の語句について―複雑さの一考察―	単独	2007 年 2 月	第 5 回韓国日本学連 合 会 国 際 学 術 大 会 (誠 信 女 子 大 学 校 : 韓 国)	小学低学年、中学年、高学年の読書感想文を資料に、感情表現について、調査を行った。前年度の発表にさらに資料を多くし、学年により、感情表現の構成について変化があることがわかった。
3 プラス評価、マイナス評価から見た日本語の感情表現―作文と国語科の教科書を資料に―	単独	2008 年 7 月	2008 日 本 語 教 育 国 際 研 究 大 会 (釜 山 外 国 語 大 学 校 : 韓 国)	感情表現について、プラス評価、マイナス評価の観点から、調査を行った。日本語母語話者・国語教科書・韓国人日本語学習者について比較した。
4 日本語の感情表現の実態―プラス評価、マイナス評価に注目して―	単独	2009 年 3 月	2009 年 大 葉 大 学 応 用 日 語 学 系 国 際 学 術 研 討 会 ― 日 語 研 究 的 新 視 野 ― (大葉大学: 台湾)	日本語母語話者は学年があがるほどプラス評価よりマイナス評価を好むが、韓国人日本語学習者も日本語レベルがあがるとマイナス評価の割合が増えることがわかった。
5 表現構成からみた日本語の感情表現について―日本語母語話者と日本語学習者の作文を資料に―	単独	2010 年 5 月	2010 年 第 四 回 真 理 大 學 「外 國 語 文 教 學 與 跨 文 化 研 究」 国 際 学 術 シ ン ポ ジ ウ ム (真 理 大 学 : 台 湾)	表現構成に注目し、日本語母語話者と日本語学習者の感情表現を比較した。学習者は母語話者よりも表現構成が単純であることがわかった。
6 日本語学習者の感情表現の実態―表現形式の観点から―	単独	2010 年 7 月	2010 年 世 界 日 本 語 教 育 大 会 (政 治 大 学 : 台 湾)	学習者の感情表現について母語話者との比較を通し表現形式の観点から、調査を行った。その結果、特に 1 項に注目し、学習者、母語話者ともに、形容詞で表現されるものが一番多く、次いで形容動詞と動詞が続くこと、また語彙の広がりについて、母語話者と学習者では、「表現の豊かさ」に差があると考えられることがわかった
7 語彙・意見力をつけるためのタスクの取り組み―語彙マップを使用しての研究発表―	共同	2014 年 7 月	第 2 回 日 本 語 教 育 学 会 研 究 集 会 (愛 知 大 学)	日本人のような日本語運用力を身につけ、まとまった文章を理解し、また、自分の意見を表現できることを目的に、初中級レベルを対象にした「語彙・意見力をつけるためのタスク」を、語彙マップを活用して試みた実践とその効果を報告した。(著者: 三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子・高木美穂・木下謙朗)
8 覚えて使える文字語彙教育の授業一例	共同	2015 年 6 月	第 2 回 日 本 語 教 育 学 会 研 究 集 会 (名 古 屋 大 学)	初級クラスにおいて、語彙の定着、運用を図るために、学習した語彙を繰り返し使う工程を取り入れ、テキスト本文を軸に、関連する文字語彙の導入、文脈からの理解、運用、そして定着を図るために行った授業の実践報告を行った。(著者: 丸山真貴子・三橋麻子・堀内貴子・高木美穂・木下謙朗)
9 外国人介護福祉士の需要拡大に向けて―介護系学科への聞き取り調査と教育実践から―	共同	2016 年 5 月	2016 年 度 日 本 語 教 育 学 会 春 季 大 会 (目 白 大 学)	関東圏で介護系学科を設置している専門学校を対象に、外国人受け入れの現状について聞き取り調査を行った結果と、他に先駆け、留学生のために「介護の日本語教育」を取り入れている某専門教育機関の教育実践から今後の外国人の介護職を目指す留学生等への教育にどのように活かせるかを提案した。(著者: 三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子)
10 日本語ジャーナル (韓国)	共著	2022 年 1 月 ～2024 年 9 月	ダ ラ ク ウ オ ン 社	韓国国内の月刊誌に、韓国の日本語学習者向けに、日本語能力試験に準じた練習問題を作成。(片桐史尚 (監修)・堀内貴子・小谷野美穂・丸山真貴子)
:				